

1/21 脱炭素社会の実現に向け 市が全国初の宣言

国東市・カーボンネガティブ宣言

国東市と九州大学都市研究センターが、「カーボンネガティブ宣言」(国東市が全国自治体で初の宣言)を共同で表明。脱炭素社会の実現に向けて、市内のCO2(二酸化炭素)排出量の実質マイナスを目指すことが示されました。市は、市の森林や農地を活用してCO2を吸収し、売買する仕組みをつくるなど、CO2削減に向けた取り組みを進めていきます。



1/20 3者で連携して宇宙港を 地域活性化につなげる

宇宙港活用における包括連携協定

国東市、一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター、大分県信用組合の3者によって、宇宙港を活用して地域経済活性化などを推進する「包括連携協定」が締結されました。この日行われた締結式では、三河市長が「宇宙港のまち・くにさき」を広め、宇宙産業や観光業の振興、教育の発展に協定を生かしていきたい」と今後の展望を述べました。



12/27 国東の乾しいたけを 食べてほしい

国東市しいたけ振興会・給食用乾しいたけ贈呈

市内のしいたけ生産者らでつくる「国東市しいたけ振興会」が、給食用に低温菌種の乾しいたけ3kgを市教育委員会に寄贈しました。乾しいたけは、市内小中学校の1月と2月の給食で使用されました。会長の園田豊稔さんは「国東の自然の中で育った、おいしい^{みのる}しいたけを地元の子どもたちに食べてほしいです」と述べ、乾しいたけを河野教育長に手渡しました。



12/26 地域住民が餅つきで交流

密乗院地区・年忘れ餅つき大会

美しい棚田の景観で知られる安岐町山浦の密乗院地区で、「年忘れ餅つき大会」が行われました。コロナ禍でも地域を明るく、新しい年が平穏な年になることを願って、地域住民ら15名が参加。子どもからお年寄りまで、参加者は笑顔で餅をつきながら、地域の交流を深めました。



1/24 毎日の練習の成果が実る

国東中と志成学園・九州大会出場報告

国東中学校の女子剣道部5名と、国東中学校女子ソフトテニス部2名、志成学園女子ソフトテニス部2名の生徒が市役所を訪れ、九州大会への出場を三河市長に報告しました。国東中女子ソフトテニス部キャプテンの岡野結菜さん(2年生)は「志成学園と姫島中と選抜チームを組んで、県大会で1位になりました。毎日練習した成果が出て良かったです」と話していました。



1/21 ブランドさつまいも栽培で 農業多角化を進める

甘太くんの栽培報告会

JAおおいた東部事業部、農事組合法人竹田津干拓、農事組合法人北江などの関係者が市役所を訪れ、「甘太くん」(高糖度さつまいも)の栽培状況を三河市長に報告しました。市内では農業多角化のため、単価の良い「甘太くん」の栽培が進んでいます。JAおおいた東部事業部の河野秀徳統括部長は「1億円産地を目指したい」と目標を語っていました。



1/13 国東高校と イギリスの学校が交流

国東高校・宇宙港オンライン国際交流会

国東高校と、英国コーンウォール州のトレヴィングラス・アカデミーのオンライン交流会が行われました。コーンウォール州の空港も大分空港と同じく宇宙港に選ばれていることから、両校生徒の交流会が企画されたものです。ESS部部長の木下桃香さん(2年生)は「楽しく交流できました。いつか英国に行ってみたいです」と目を輝かせていました。



12/28 一年を振り返りながら 身を清める

両子寺・護摩堂すず払い

両子寺で、年末恒例の「護摩堂すず払い」が行われました。総代や参拝者ら約30名が参加。参加者は今年の行いを振り返りながら護摩堂のすずを払い、新年を迎えるために身を清めました。両子寺法嗣の寺田豪淳さんは「無事に一年の締めくくりの行事を行うことができました。来年はコロナ禍が収束するよう願っています」と話していました。

